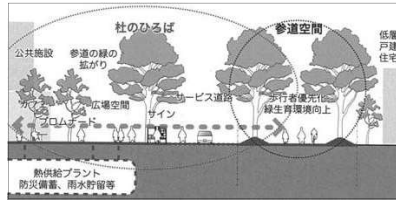
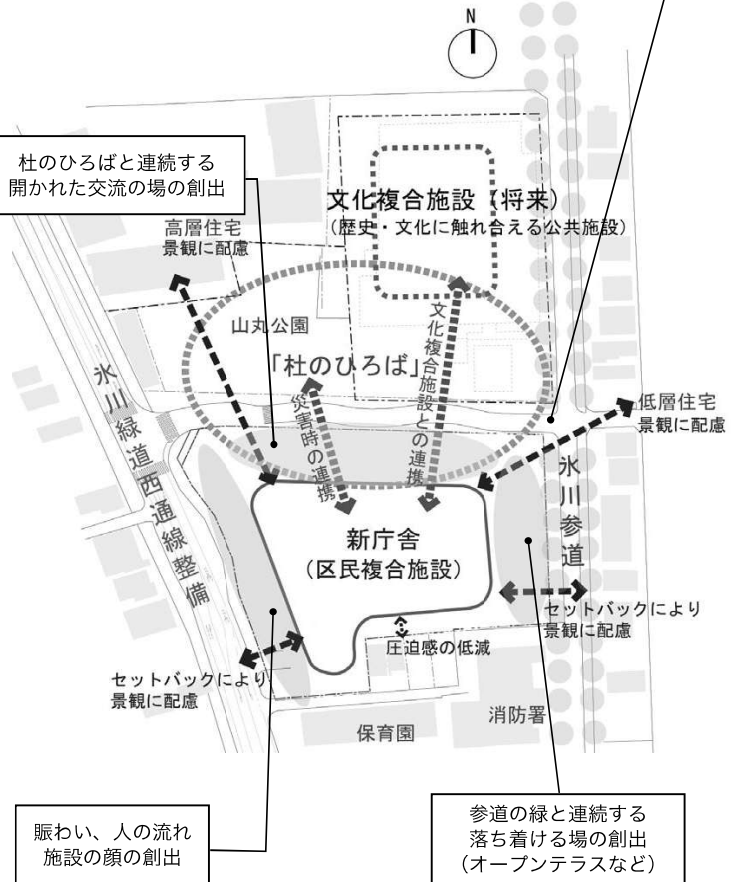


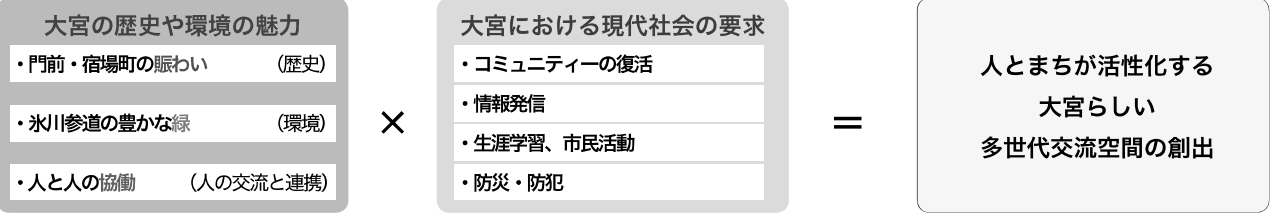
1. 土地利用について



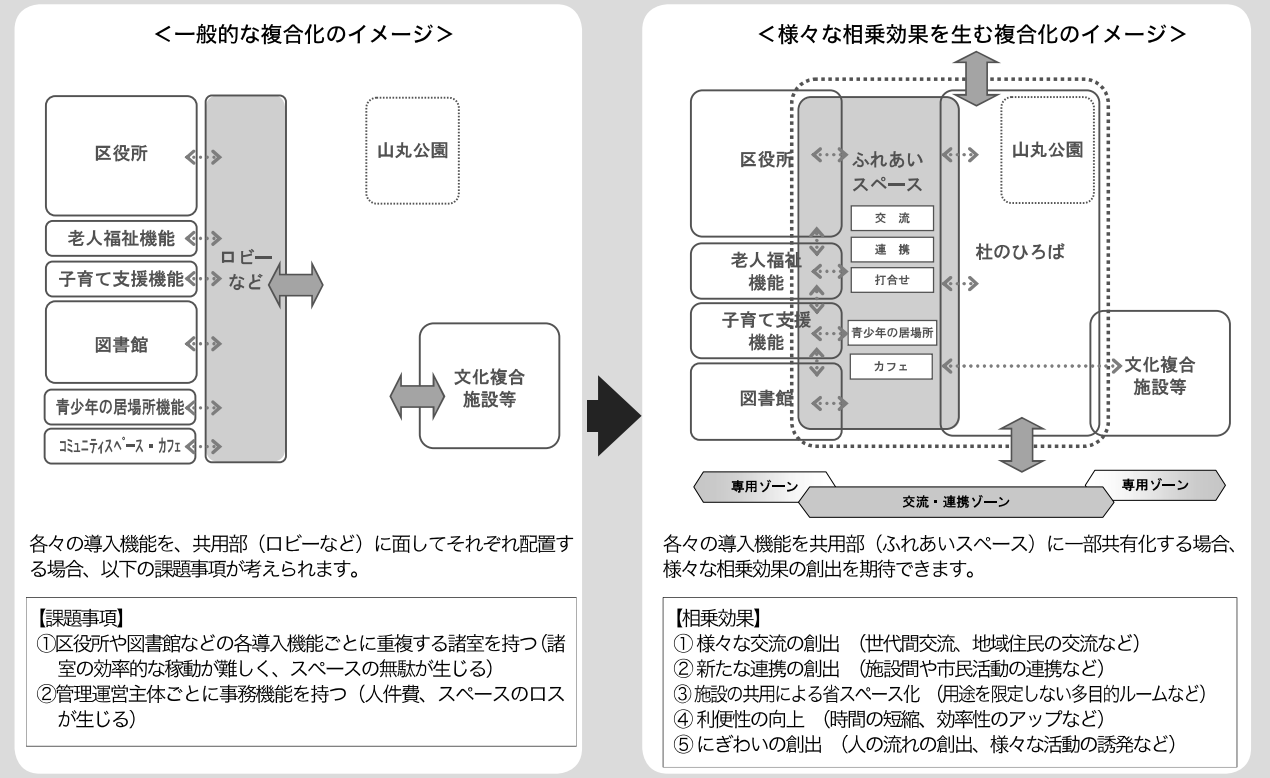
イメージ（「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」より）



2. 新庁舎（区民複合施設）整備の考え方



■多世代交流空間形成のイメージ



3. 導入機能の考え方について

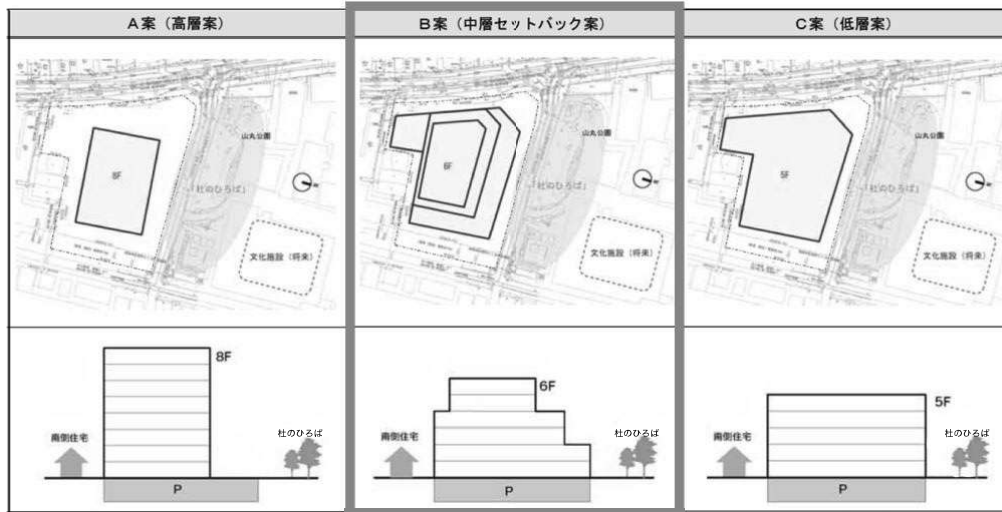
■新庁舎の基本方針

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| ① 区民に開かれ、利用しやすい施設とします | 区役所：区民に開かれ、誰でも利用しやすいサービス提供 |
| ② 一体整備により相乗効果を誘発する、多世代交流を創出する施設とします | 図書館：居心地が良く、多くの人で賑わう図書館 |
| ③ 賑わいを誘発し、地域のシンボルとなる大宮らしい施設とします | ふれあいスペース：世代・目的を超えた様々な交流が誘発される区民の居場所 |
| ④ 防災の拠点となる施設とします | |
| ⑤ 耐久性があり、持続性の高い施設とします | |
| ⑥ 環境と経済性に配慮した施設とします | |

4. 建物形状イメージについて

《基本的考え方》

- 敷地南側への圧迫感を軽減するよう、施設配置や建物高さに配慮します。
- 氷川緑道西通線や氷川参道の歩行者に対しての景観的な配慮を行います。
- 北側隣接地への日影の影響を十分考慮するなど、良好な居住環境を維持するとともに、杜のひろばを明るく、開放的な空間にするようにします。



3つの案を比較した場合、周辺の居住環境や景観への配慮、北側にある杜のひろばの日照確保という点で総合的に判断し、「B案（中層セットバック案）」を中心に、今後も検討してまいります。

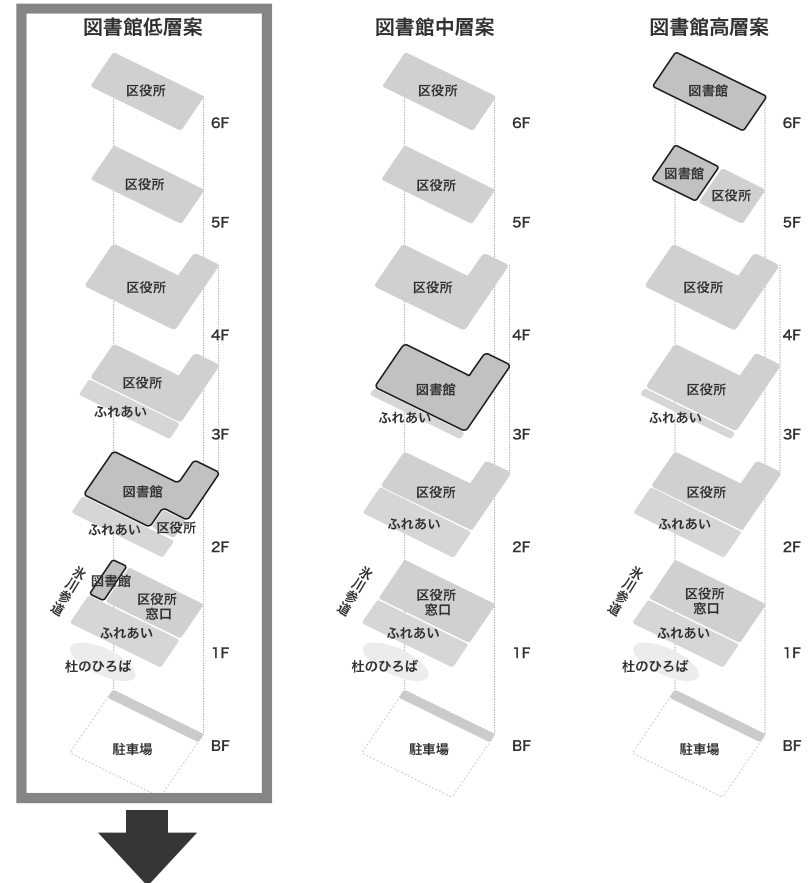
※この提示資料はイメージであり、今後の検討結果により変更の可能性があります。

5. 導入機能構成イメージについて

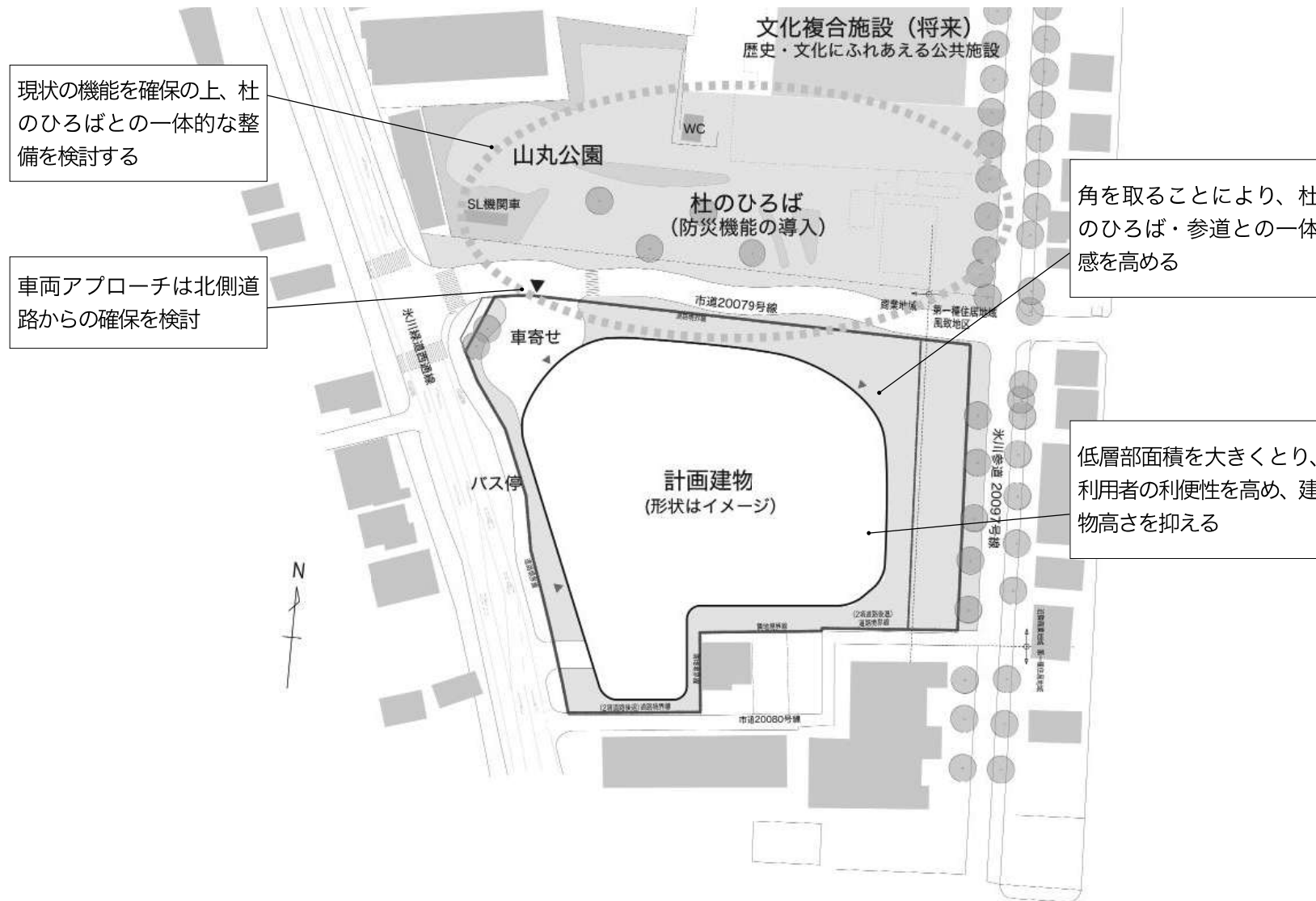
B案（中層セットバック案）を想定した場合の導入機能構成として、配置を大きく左右する図書館の位置によって、大きく下図の様なパターンが想定されます。

《基本的考え方》

- 区役所については、窓口機能を集約し、区民の利便性を高めます。
- 図書館については、文化複合施設との連続性を考慮します。
- ふれあいスペースについては、区役所閉庁時の利用を考慮するとともに、賑わいの創出を図ります。



文化複合施設との連続性が確保でき、区民の利便性も高いと考えられるこの案を中心に、今後も検討してまいります。



※この提示資料はイメージであり、今後の検討結果により変更の可能性があります。